ユーザーガイド

Q2963PM LED バックライト

www.aoc.com

安全について

本書について

ここでは、本書の表記のしかたについて説明します。

メモ、注意、警告

本書を通じて、一部の文が記号とともに太字または斜体表示の文字を使って表示されています。それらのテキストブロックはメモ、注意、警告に区分して説明しています。

メモ: 「メモ」は、コンピュータ システムの使用に役立つような重要な情報を提供します。

注意: 「注意」は、ハードウェアに損害を与えたり、データを失ったりする可能性があることを指摘し、どのように防止するかを説明しています。

警告: 「警告」は、重傷などに結びつく可能性があることを指摘し、どのように防止するかを説明しています。

一部の警告表示は、これら以外の形式で表示され、また記号を伴わずに表示される場合もあります。そのようなことは、関連機関より専門的な警告の表示方法が示されます。

電源

モニターは、ラベル上に記載されている電力のタイプだけを使ってご使用ください。ご家庭で供給される電力のタイプがわからないときは、販売店または地元の電力会社にお問い合わせください。

落雷時や長期にわたって使用する予定がないときは、プラグをコンセントから抜き取ってください。電力の異常供給によるモニターの故障防止につながります。電源コードや延長コードに過重負荷を与えないでください。

 過重負荷は、火災や感電を引き起こすおそれがあります。

安全のため、モニターは UL 認証を受けたコンピュータに接続することをお勧めします。また、コンピュータのコンセントは正確に配置され、かつ100 - 240V AC, Min. 5A のように表示されたものに接続してください。

 コンセントは、モニターの近くで簡単に手の届く位置が理想です。

UL、CSA の認証を受けた電源変圧器(外付け電源アダプタ製品のみ)以外のものを使用しないでください。

必ず付属の電源アダプタ（19Vdc 3.42A 出力）のみと一緒にお使いください。このアダプタは、CE、UL、CSA 規格認定済み(但し、電源アダプタ付きのモニターのみ)です。

製造元:

1） TPV ELECTRONICS(FUJIAN) CO., LTD model : ADPC1965

2） SHENZHEN HONOR ELECTRONICS CO., LTD. / model: ADS-65LSI-19-1 19065G

セットアップ

 モニターは台車の上や、不安定な台または机などに置かないでください。モニターが落下してけがの原因となり、重大な損害を引き起こす可能性があります。キャスター付き置き台またはスタンドについては、メーカーが推奨したもの、または本製品と一緒に販売されているものだけをお使いください。本機を壁またはラックに取付けするときには、メーカー認定済みの取付け金具を使用し、金具の取扱説明書に従って、取り付けてください。

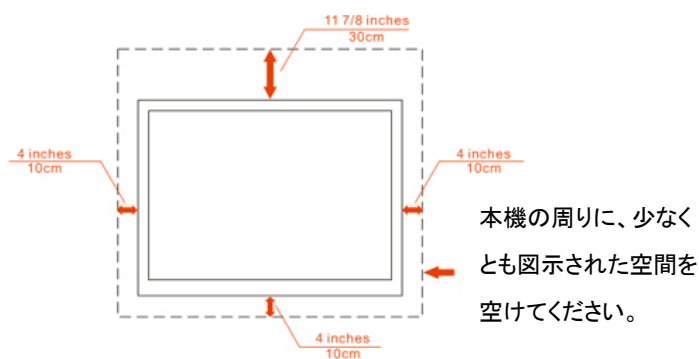
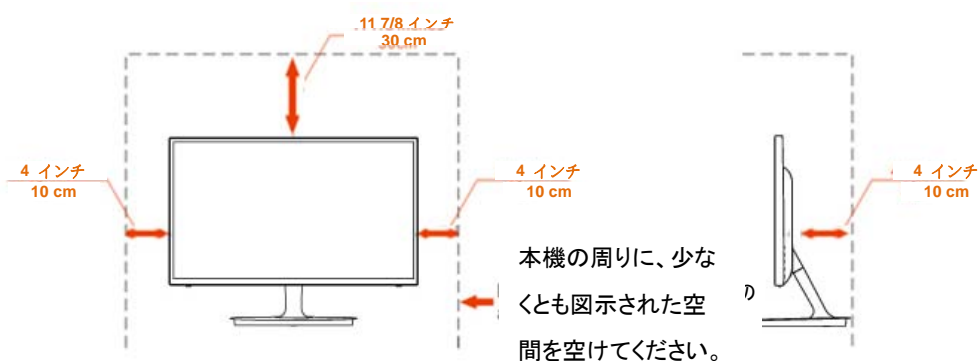
モニターのスロットに異物を押し込まないでください。回路部の故障により火災や感電を引き起こすおそれがあります。モニターに液体をこぼさないでください。

製品の液晶部分を床面に置かないでください。

モニターを壁面や棚に取り付ける場合、メーカーにより承認されたアームを用意し、アームの説明書に従ってご使用ください。

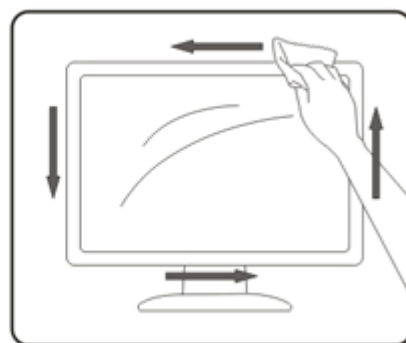
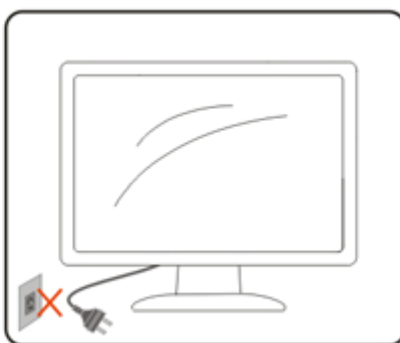
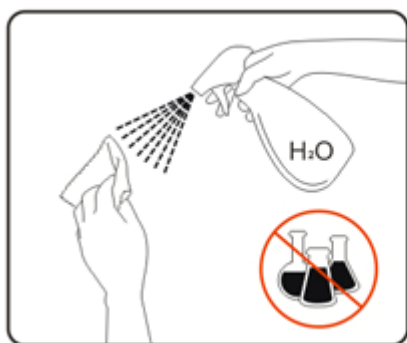
下の図のように、モニターのまわりはにいくらかの空間を残してください。風通しが悪いと、過熱により、火災、故障の原因となります。

モニターを壁面やスタンドに取り付けて使用する場合、モニターの推奨通気位置について下の図を参照してください。

壁掛け金具使用時

スタンド使用時

お手入れ

本機の外観を購入時の状態のまま維持するため、定期的に柔らかい布で軽く拭いて下さい。特に汚れがひどいときは、柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから汚れをふき取ってください。腐食性を帯びる洗剤等、中性洗剤以外の洗剤を使用しないでください。ケーシングに損傷をあたえる原因となります。

溶剤類や水滴等が、液晶ディスプレイ内部に浸入すると、液晶パネル内部素子を破壊する恐れがありますので、ご注意ください。

本体を掃除されるときは、電源コードを予めコンセントから抜取ってください。

その他

本体から異常な臭い、音、煙が発生したときは、電源プラグの接続を「すぐに」取り外し、サービス センターにご連絡ください。

本機の通気口がテーブルやカーテンによって遮断されていないことをお確かめください。

湿度の高い場所や高圧環境では本機を使用しないでください。

モニターの動作中や運搬中に、モニターを叩いたり、落としたりしないでください。

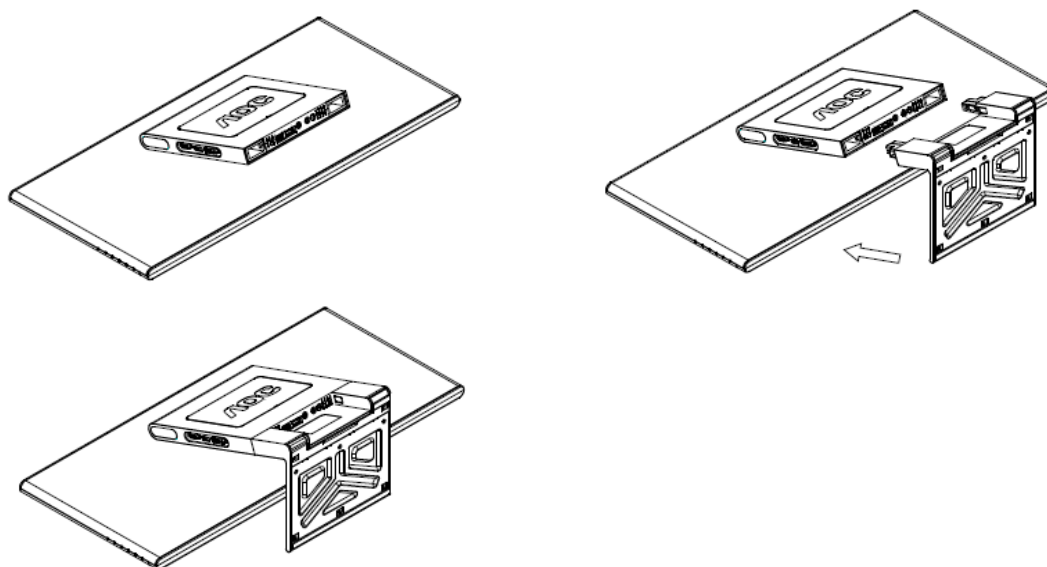
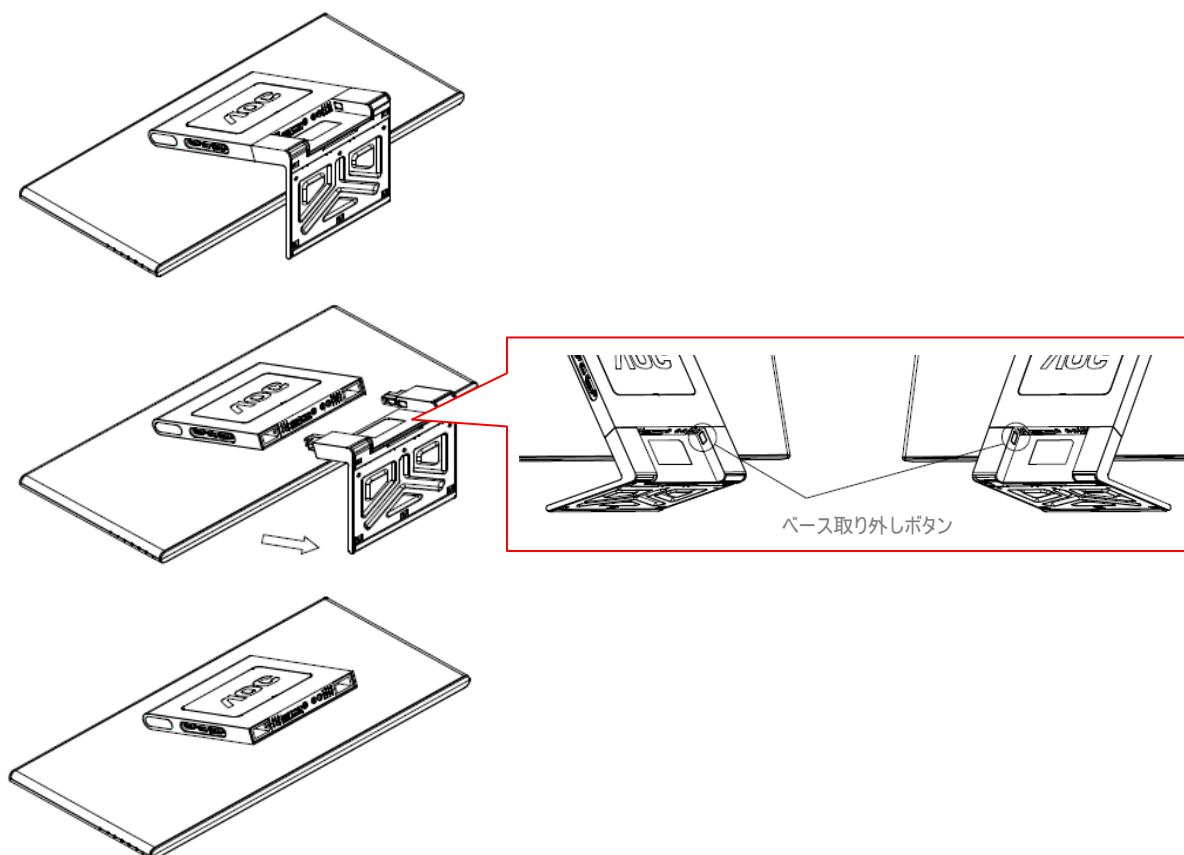
セットアップ

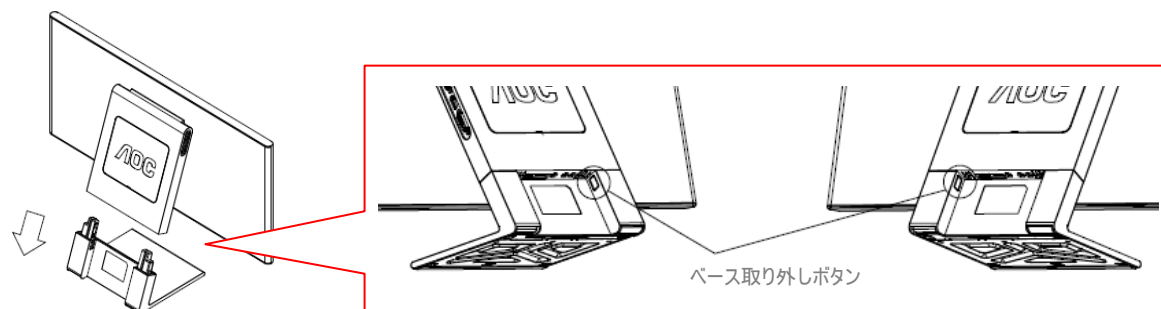
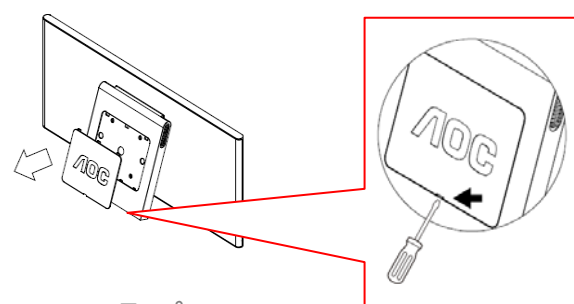
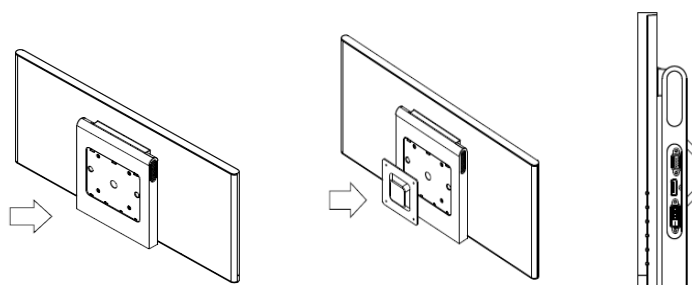
標準配置

モニター

ベーススタンドの取付け

以下の図に従って、ベーススタンドを取り付け、取り外しを行ってください。

取り付け:

取り外し:

壁掛けの場合

壁掛用アーム(オプション) を取付ける準備をします。

モニターは、別売の壁マウントアームに取り付けることができます。 この手順の前に電源を切断してください。 以下の手順にしたがいます。

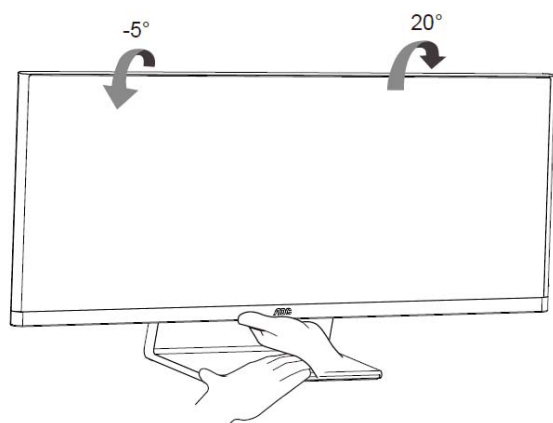
1. ベース取り外しボタンを押してベースを取り去ります。
2. 平頭ドライバーを使用して VESA カバーを取り去ります。
3. ネックの傾き角度をディスプレイに平行になるように調整します。
4. 4 本のねじで、ネック背面に壁マウントアームを組み立てます。
5. ケーブルをまた接続します。 壁に取り付ける指示については、オプションの壁マウントアームに付属されているユーザーズマニュアルを参照してください。

メモ: VESA マウントねじ穴は、全てのモデルで利用できるわけではありません。 販売店にお問い合わせください。 壁にモニターをマウントする前に、モニターの損傷を避けるために、ねじの正しい長さとサイズを見つけてください。 モニターのマウント穴は 4 mm、0.7 ピッチ、10 mm 長のねじをサポートする必要があります。

画面の角度調節

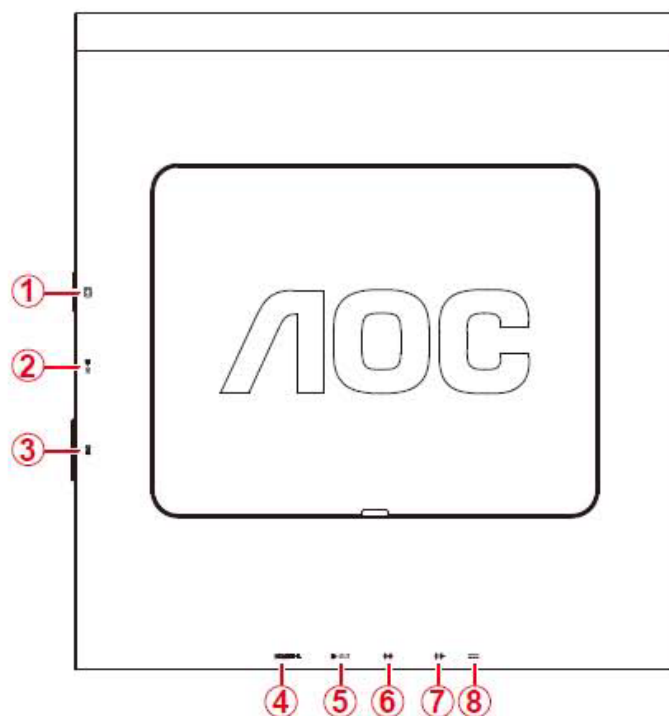
最適な表示をお楽しみいただくため、モニターの正面を見て、お好みに合わせてモニターの角度を調節してください。

モニターの角度を調節するときは、モニターが誤って倒れないように、スタンド部分を押さえてください。

モニターの角度は −5° ～20° の範囲で調節可能です。

注意:

*角度、向きを調節する場合は、手で液晶パネルを押さえないでください。液晶パネル損傷の原因となります。

モニターを接続する

モニターのケーブル接続:

1　アナログ（D-SUB アナログケーブル）端子

2　DP イン

3　DVI ケーブル端子

4　HDMI/MHL　ケーブル端子

5　DP アウト

6　ラインインオーディオケーブルポート(入力)

7　イヤホンジャック

8　DC ポート

装置を保護するため、接続するまえに必ずコンピュータと液晶モニターの電源を切ってください。

1　電源ケーブルをモニター背面の DC ポートに接続します。

2　15 ピン D-Sub ケーブルの一方の端をモニター背面に、もう一方の端をコンピュータの D-Sub ポートに接続します。

3　オプション –（DVI ポートにはビデオカードが必要です）– DVI ケーブルの一方の端をモニターの背面に、もう一方に端をコンピュータの DVI ポートに接続します。

4　オプション –（HDMI ポートにはビデオカードが必要です）– HDMI ケーブルの一方の端をモニターの背面に、もう一方に端をコンピュータの HDMI ポートに接続します。

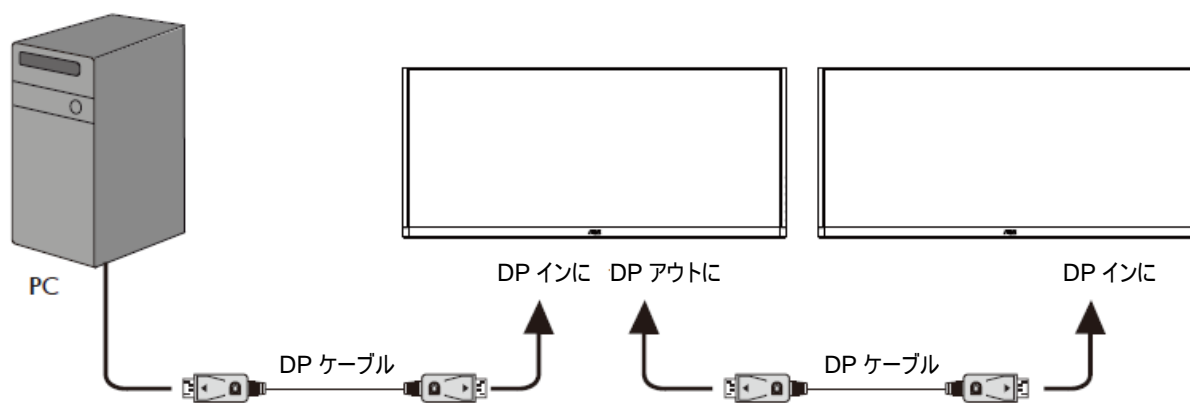
5　オプション –（DP ポートにはビデオカードが必要です）– DP ケーブルの一方の端をモニターの背面に、もう一方に端をコンピュータの DP ポートに接続します。

6　モニターとコンピュータの電源をオンにします。

7　ビデオコンテンツのサポートする解像度： VGA / DVI / HDMI / DP： 2560 x 1080/60Hz（最大）

モニターに画像が表示されれば、取り付けは完了です。 画像が表示されない場合は、「トラブルシューティング」を参照してください。

デイジーチェーン

複数のディスプレイを相互に連結して、デイジーチェーン構成を作成することができます。

1. 異なる入力ビデオコンテンツと最大解像度（2560x1080@60Hz）の場合： 最大 2 台の AOC Q2963PM モニターを DP1.2 MST（マルチストリーム移送）ケーブルで接続します。

- サポートする解像度：
  1） VGA： 2560 x 1080@60Hz
  2） DVI： 2560 x 1080@60Hz（デュアルリンク DVI ケーブル付き）
  3） HDMI 1.3 & HDMI 1.4: 2560 x 1080@60Hz（HDMI 1.4 を推奨）
  4） DP1.1 & DP1.2： 2560 x 1080@60Hz（DP1.2 を推奨）

モニターの調整

推奨解像度の設定

Windows Vista

Windows Vista の場合

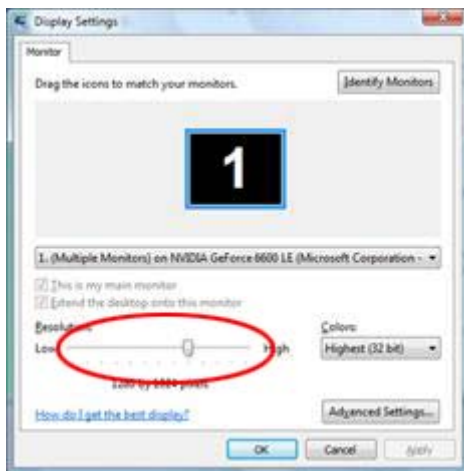
1 「スタート」をクリックします。

2 「コントロール　パネル」をクリックします。

3. 「デスクトップのカスタマイズ」をダブルクリックします。

4 「個人設定」をクリックします。

5「画面の設定」をクリックします。

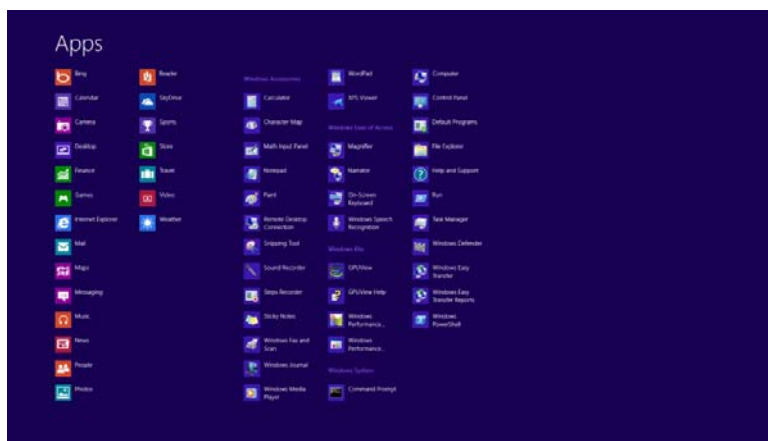
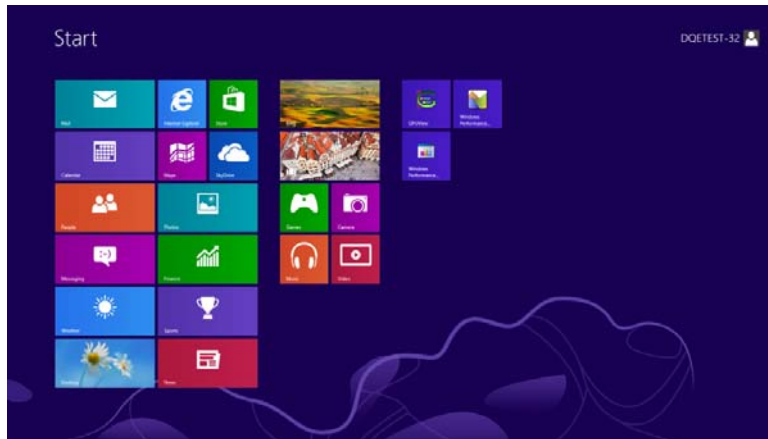
6　解像度**スライドバー**を 1920x1080 または 2560x1080 に設定します。

Windows ME/2000

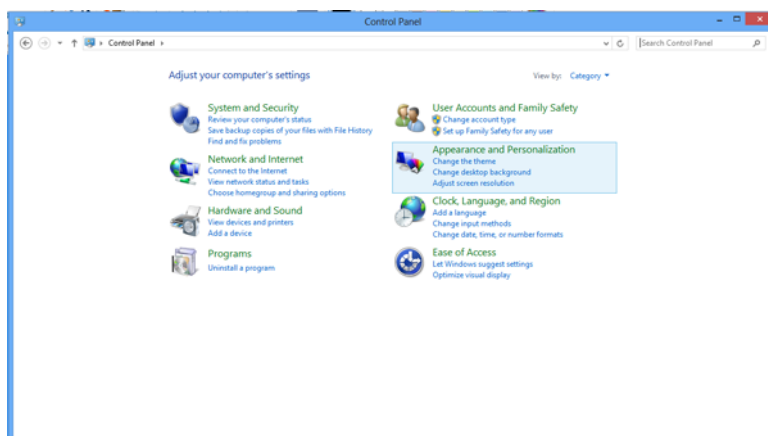
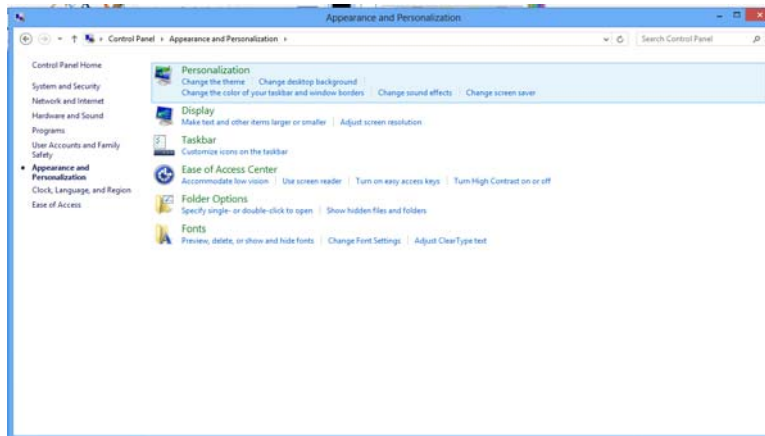
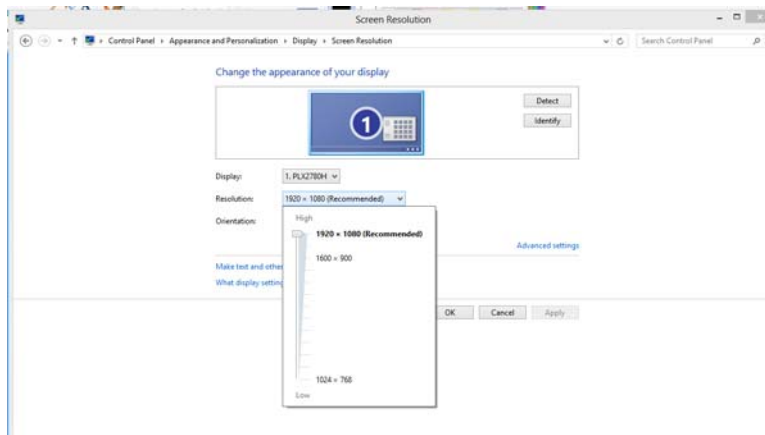
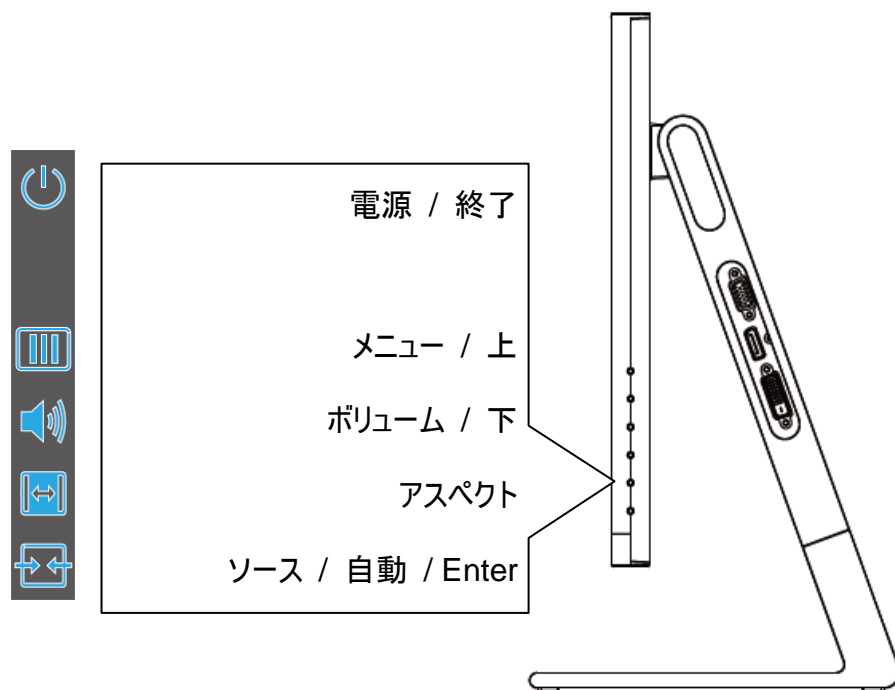
Windows ME/2000 の場合：

1. **スタート**をクリックします。
2. **設定**をクリックします。
3. **コントロールパネル**をクリックします。
4. **画面**をダブルクリックします。
5. **設定**をクリックします。
6. 解像度**スライドバー**を 2560x1080 または 2560x1080 に設定します。

Windows 8

Windows 8 の場合：

1.　右クリックし、画面右下ですべてのアプリをクリックします。

2.　「表示」を「カテゴリ」に設定します。

3.　デザインとカスタマイズをクリックします。

4. 画面をクリックします。

5. 解像度**スライドバー**を2560x1080または2560x1080に設定します。

ショートカットボタン

コントロールメニューを表示するにはどれかのキーを押します。

電源 / 終了

電源ボタンを押してモニターのオン/オフを切り替えます。

メニュー / ∧

OSD を表示するにはこのボタンを押します。

音量 / ∨

音量を調整するにはこのボタンを押します。

アスペクト/ <

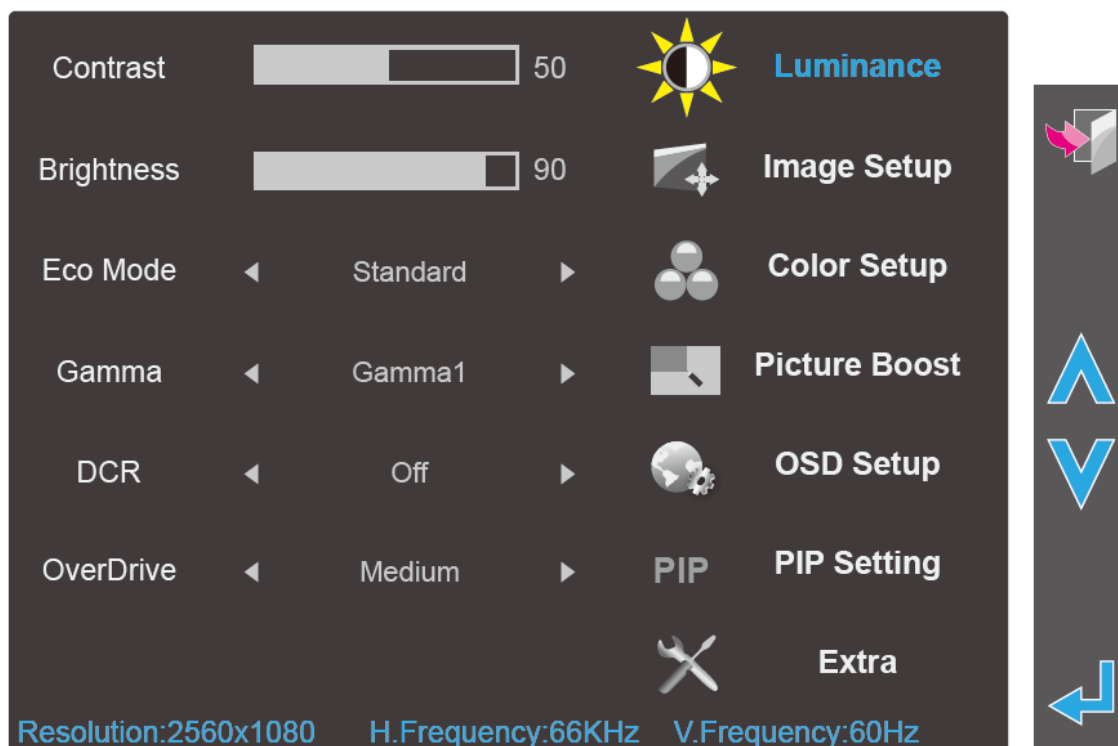
21:9、16:9、16:10、4:3、1:1 の比率を変更するイメージ比率の一覧を表示するときに押します。（製品の画面サイズが 4:3 の場合または入力信号がネーティブ解像度の場合、ホットキーは無効に調整されます）。

ソース / 自動 / Enter / >

このボタンを押してソースと PIP 機能リストを表示し、ビデオコンテンツまたは PIP 機能を選択します。

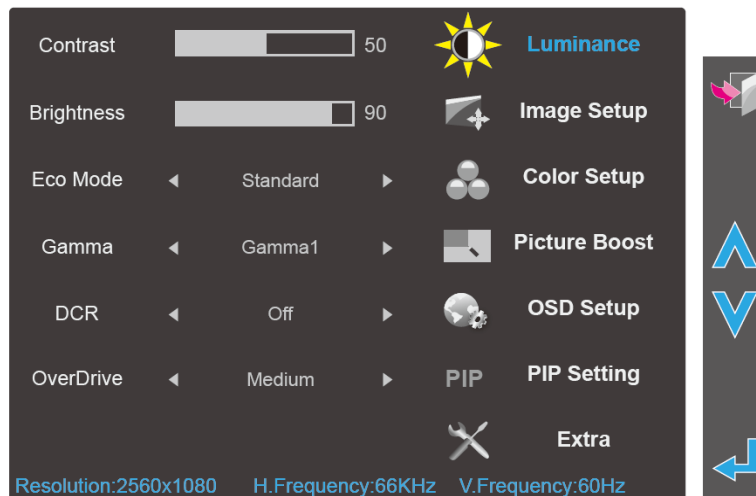
約 2 秒間押して自動設定を行います（デュアル以上の入力があるモデル専用）。

OSD 調節機能

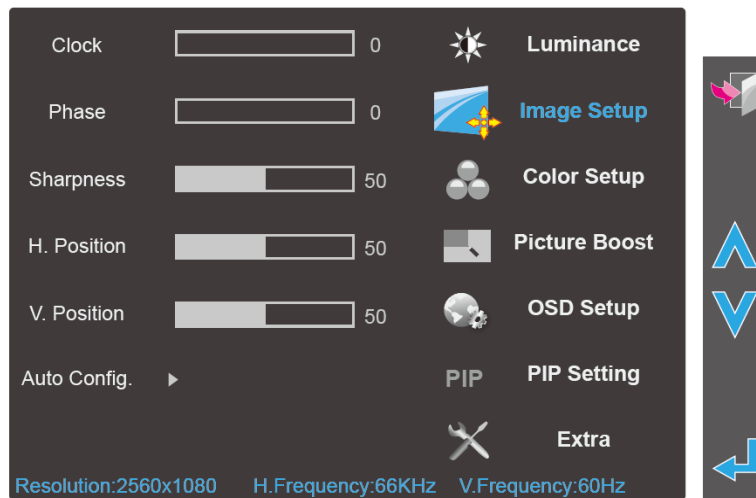
OSD ボタンの基本操作

1. コントロールメニューを表示するにはどれかのキーを押します。
2. **メニューボタン**を押して OSD ウィンドウを有効にします
3. ∧または∨を押して機能をナビゲートします。 希望の機能がハイライトされたら、**Enter ボタン**を押して有効にします。 サブメニューがある場合、∧または∨を押してサブメニュー機能をナビゲートします。
4. <または>を押して、選択した機能の設定を変更します。 **終了**を押して終了します。 他の機能を調整する場合、手順 2-3 を繰り返します。
5. OSD ロック機能： OSD をロックするには、モニターがオフになっている間に**メニューボタン**を押し続けて、**電源ボタン**を押してモニターをオンにします。 OSD をロック解除するには、モニターがオフになっている間に**メニューボタン**を押し続けて、**電源ボタン**を押してモニターをオンにします。

メモ：

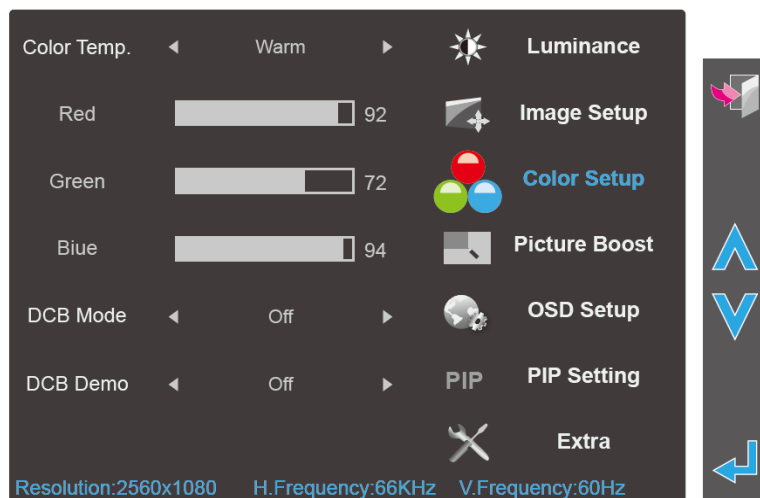
1. 製品に 1 つしか信号入力がない場合、「入力選択」のアイテムが無効になります。
2. 製品の画面サイズが 4:3 の場合または入力信号がネーティブ解像度の場合、「画像比」のアイテムが無効になります。
3. クリアビジョン、DCR、カラー調整、部分ハイライト機能のどれかが有効になると、他の 3 の機能もそれに従ってオフになります。

輝度

1. (メニュー)を押してメニューを表示します。
2. またはを押して(輝度)を選択し、を押して入力します。
3. またはを押してサブメニューを選択します。
4. <または>調整します。
5. 終了を押して終了します。

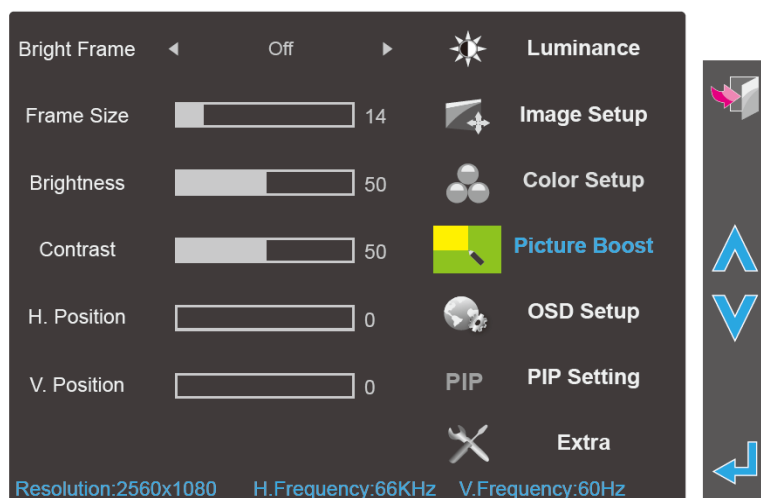
	コントラスト	0-100		画面のコントラストを調整します。
	明るさ	0-100		画面の明るさを調整します。
	モード設定	スタンダード		スタンダードモード
		テキスト		テキストモード
		インターネット		インターネットモード
		ゲーム		ゲームモード
		映画		映画モード
		スポーツ		スポーツモード
	ガンマ	ガンマ 1		ガンマ 1 に調整します。
		ガンマ 2		ガンマ 2 に調整します。
		ガンマ 3		ガンマ 3 に調整します。
	DCR	オフ		ダイナミック・コントラスト機能を停止します。
		オン	DCR	ダイナミック・コントラスト機能を起動します。
	Overdrive	弱		応答時間を調整します。
		中		
		強		
		オフ		

画像調節

1. (メニュー)を押してメニューを表示します。
2. ∧または∨を押して（画像調節）を選択し、を押して入力します。
3. ∧または∨を押してサブメニューを選択します。
4. <または>調整します。
5. 終了を押して終了します。

画像調節	水平サイズ	0-100	画面に縦縞が現れるときや左右の画面サイズがあっていないときに調整してください。
	位相	0-100	画面に横方向のノイズが表示されたり、文字のにじみ、輪郭のぼけが起こった場合に調整してください。
	鮮明度	0-100	画像の鮮明度を調整します。
	水平位置	0-100	画面位置の左右方向の調整をします。
	垂直位置	0-100	画面位置の上下方向の調整をします。
	自動設定		画面を既定値に自動調整

色設定

1. (メニュー)を押してメニューを表示します。
2. ∧または∨を押して（色設定）を選択し、を押して入力します。
3. ∧または∨を押してサブメニューを選択します。
4. <または>調整します。
5. 終了を押して終了します。

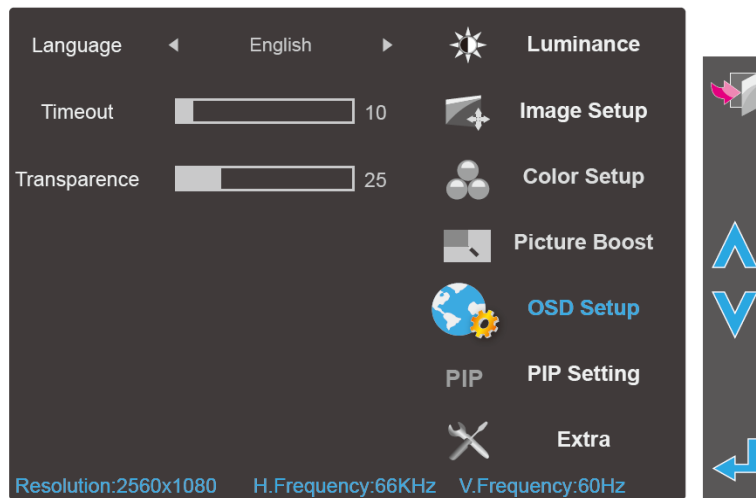
色設定	色温度	ワーム		暖色設定。
		通常		自然色設定。
		クール		寒色設定。
		sRGB		sRGB 設定。
		ユーザー設定	赤	赤色温度微調整。
			緑	緑色温度微調整。
			青	青色温度微調整。
	DCB モード	フルエンハンス		フルエンハンスモード。
		ナチュラルスキン		ナチュラルスキンモード。
		グリーンフィールド		グリーンモード。
		スカイブルー		スカイブルーモード。
		自動設定		画面を既定値に自動調整。
		オフ		DCB モードオフ。
	DCB デモ		オン/オフ	左画面デモ オン/オフ。

部分ハイライト

1. (メニュー)を押してメニューを表示します。
2. またはを押して(部分ハイライト)を選択し、を押して入力します。
3. またはを押してサブメニューを選択します。
4. <または>調整します。
5. 終了を押して,終了します。

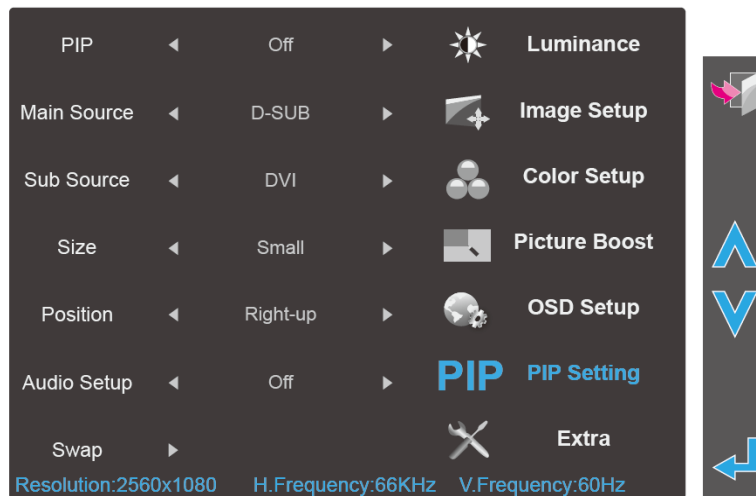
部分ハイライト	部分ハイライト	オン/オフ	部分ハイライト オン/オフ。
	画面サイズ	14-100	部分ハイライト画面サイズを調整し。
	明るさ	0-100	部分ハイライト画面の明るさを調整します。
	コントラスト	0-100	部分ハイライト画面のコントラストを調整します。
	水平位置	0-100	部分ハイライト画面の水平位置を調整します。
	垂直位置	0-100	部分ハイライト画面の垂直位置を調整します。

注:

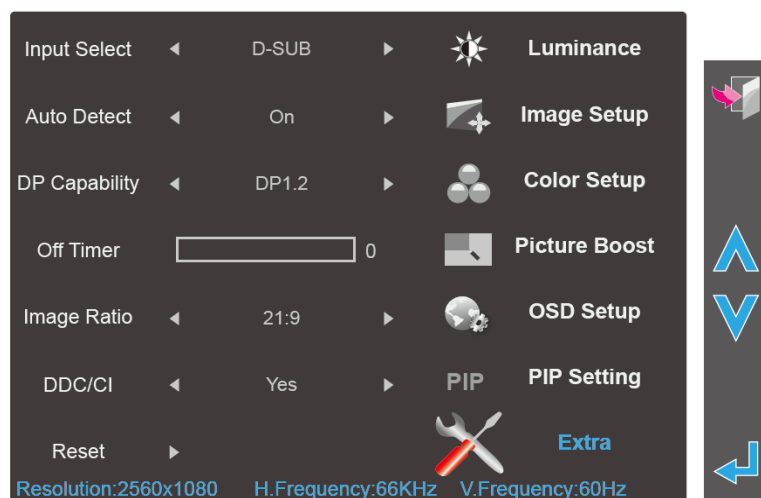
表示体験を向上させるために、カラーエンハンスの明るさ、コントラスト、位置を調整します。

OSD 設定

1. Ⅲ(メニュー)を押してメニューを表示します。
2. ∧または∨を押して (OSD 設定)を選択し、↵を押して入力します。
3. ∧または∨を押してサブメニューを選択します。
4. <または>調整します。
5. 終了を押して終了します。

	言語	英語、朝鮮語、中国語(繁体字)、中国語(簡体字)、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、オランダ語、スウェーデン語、ポルトガル語、ヨーロッパ言語、欧州ポルトガル語、ブラジルポルトガル語、ポーランド語、チェコ語、日本語	OSD 画面表示の言語を選択します。
	OSD 表示時間設定	5-120	OSD 画面の表示時間を調節します。
	OSD 透明度	0-100	OSD 画面の透明度を調整します。

PIP 設定

1. (メニュー)を押してメニューを表示します。
2. またはを押して PIP を選択し、を押して入力します。
3. またはを押してサブメニューを選択します。
4. またはを調整します。
5. 終了を押して終了します。

PIP	PIP	オフ / PIP / PBP	PIP または PBP の無効または有効を切り替えます。
	ソース	D-SUB / DVI / HDMI / DP	入力信号の自動検出
	サイズ	小 / 中 / 大	画面サイズを選択します。
	位置	右上	画面位置を設定します。
		右下	
		左下	
		左上	
		中央	
	自動設定	オン / オフ	
	聲音設定	オン / オフ	オーディオセットアップの無効または有効を切り替えます。
	交換		画面ソースを交換します。

その他

1. (メニュー)を押してメニューを表示します。
2. ∧または∨を押して （その他）を選択し、を押して入力します。
3. ∧または∨を押してサブメニューを選択します。
4. <または>調整します。
5. 終了を押して終了します。

	入力選択	D-SUB / DVI / HDMI / DP/自動	入力信号の自動検出。
	DP 機能	＊DP1.1a / DP1.2	ディスプレイポート適正を選択します。
	オフタイマー	0~24 時間	オフタイマーの時間を設定。
	画像比	21 : 9 / 16 : 9 / 16 : 10 / 4 : 3 / 1 : 1	ディスプレイの画像比を選択します。
	DDC-CI	はい/いいえ	DDC- CI サポート機能のオン/オフ。
	リセット	はい/いいえ	リセットメニューは既定値。

メモ:

1. **自動設定を「オン」に設定します。**

   電源をオンにするとき、安定した信号を検出するまで最後に記憶された入力ソースからすべての入力ソースをスキャンします。

   信号が検出されると、画面に画像が表示されます。

   信号が検出されない場合、画面に「信号なし」OSD が表示され省電力モードに入ります。 信号ソースは、最後に記憶された入力ソースを維持します。

   自動設定を「オフ」に設定します。

   電源がオンになると、最後に記憶された入力ソースを検知します。

   信号が検出されると、画面に画像が表示されます。

   最後に記憶された入力ソースに信号が検出されない場合、画面に「信号なし」OSD が表示され省電力モードに入ります。 信号ソースは、最後に記憶された入力ソースを維持します。

2. DP ビデオコンテンツが DP1.2 をサポートする場合、DP 機能用 DP1.2 を選択してください。そうでない場合、DP1.1a を選択してください。

LED インジケータ

状態	LED インジケータの色
電源がオンで信号入力がある場合	青 / 緑
電源がオンで信号入力がない場合	黄 / 赤

ドライバ

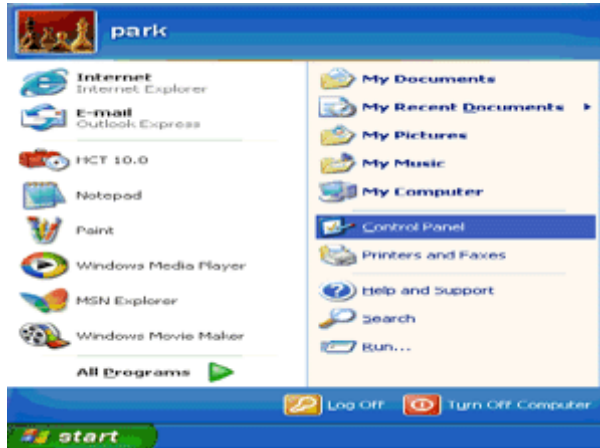
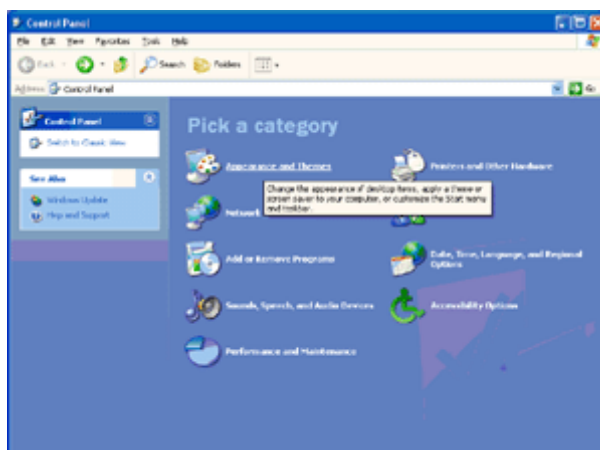
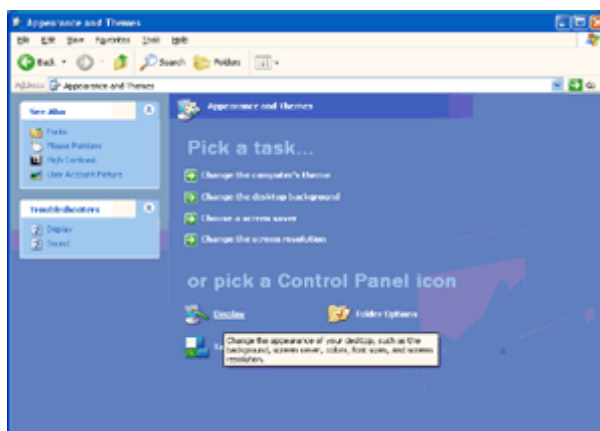
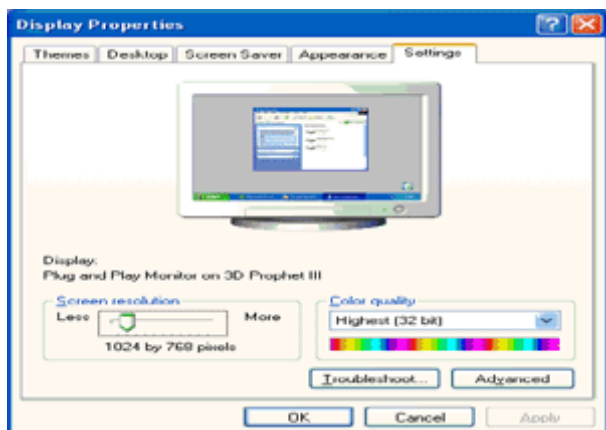
モニタードライバ

Windows 8

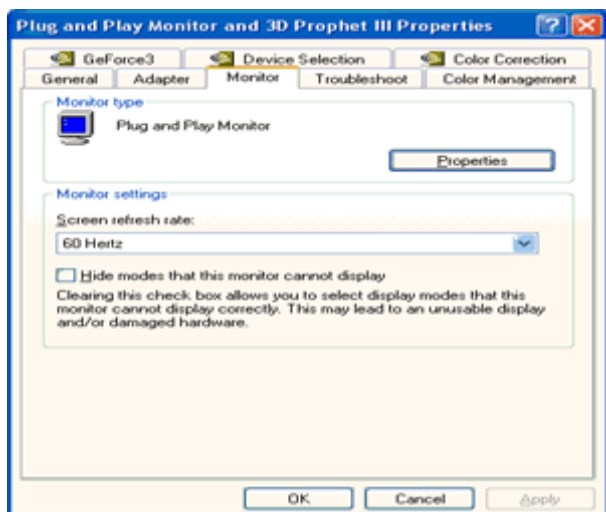
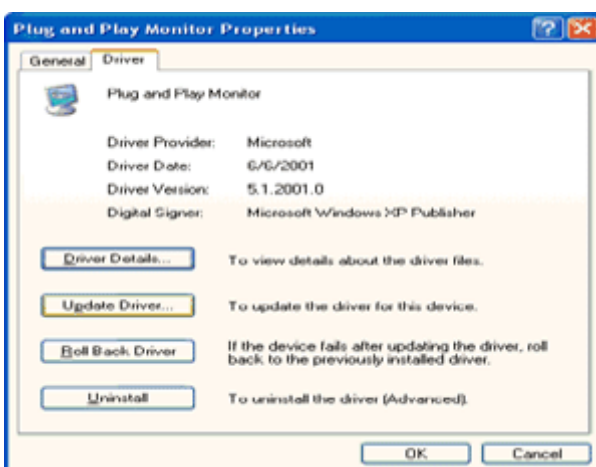
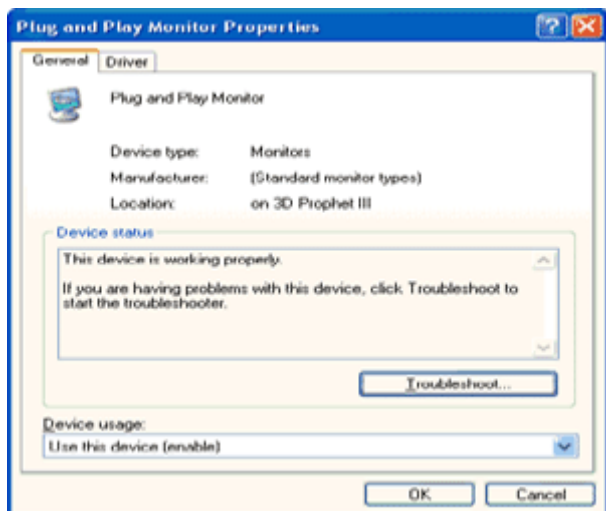
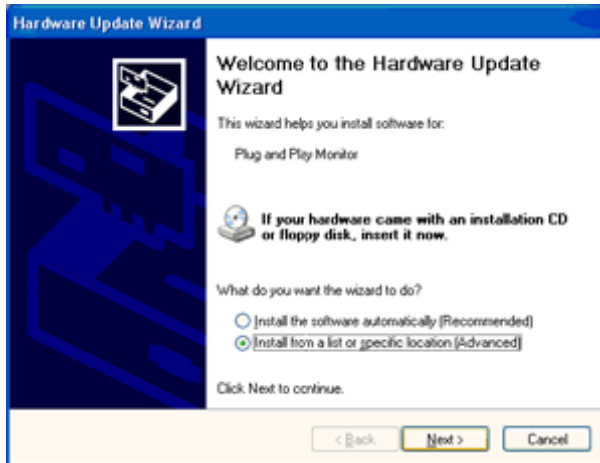
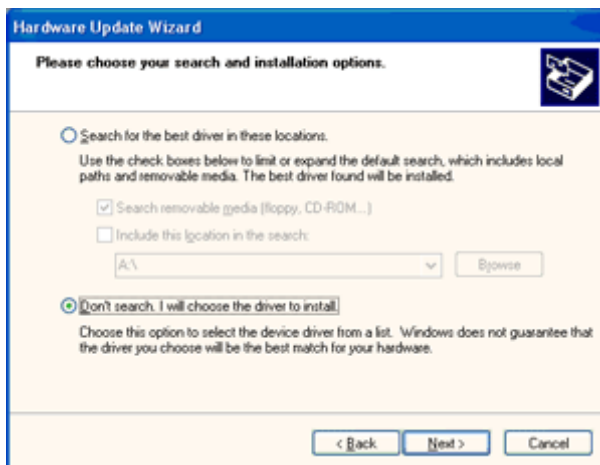
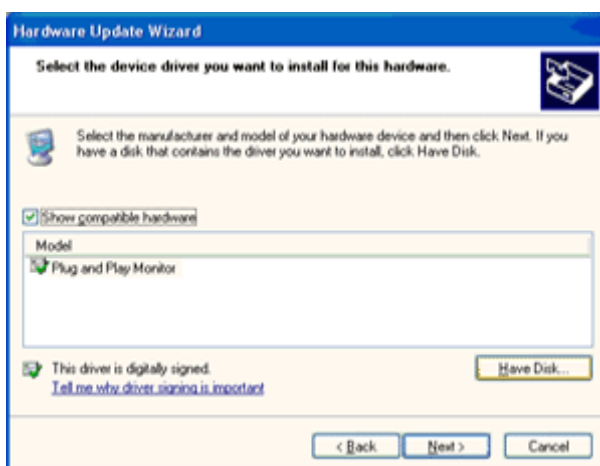
1. Windows® 8 を起動します。
2. 右クリックし、画面右下で**すべてのアプリ**をクリックします。
3. **「表示」**を**「アイコン」**または**「小アイコン」**に設定します。
4. **「画面」**アイコンをクリックします。
5. **「画面設定の変更」**ボタンをクリックします。
6. **「詳細設定」**ボタンをクリックします。
7. **「モニター」**タブをクリックし、**「プロパティ」**ボタンをクリックします。
8. **「ドライバ」**タブをクリックします。
9. **「ドライバの更新...」**を右クリックして**「ドライバソフトウェア-汎用 PnP モニターの更新」**ウィンドウを開き、**「マイコンピューータを閲覧してドライバソフトウェアを検索する」**ボタンをクリックします。
10. **「マイコンピュータのデバイスドライバのリストから選択する」**を選択します。
11. **「ディスク使用」**ボタンをクリックします。**「閲覧」**ボタンをクリックして次のディレクトリ:X:¥Driver¥module name（X は CD-ROM ドライブのドライブ文字識別子）にナビゲートします。
12. **「xxx.inf」**ファイルを選択し、**「開く」**ボタンをクリックします。**「OK」**ボタンをクリックします。
13. モニターのモデルを選択し、**「次へ」**ボタンをクリックします。 ファイルは CD からハードディスクドライブにコピーされます。
14. 開いているすべてのウィンドウを閉じ、CD を取り出します。
15. システムを再起動します。 最大のリフレッシュレートと対応するカラーマッチングプロファイルが自動的に選択されます。

Windows XP の場合

1. Windows® XP を起動します。

2. 「スタート」ボタンをクリックして、「コントロール パネル」をクリックします。

3. 「デスクトップの表示とテーマ」のカテゴリをクリックします。

4. 「画面」項目をダブルクリックします。

5. 「設定」タブを開き、「詳細設定」ボタンをクリックします。

6. 「モニタ」タブを開きます。

–「プロパティ」ボタンがアクティブでないときは、モニターが正しく構成されていることを意味します。インストール作業は中止してください。

–「プロパティ」ボタンがアクティブの場合、「プロパティ」ボタンをクリックします。以下の手順を実行してください。

7. 「ドライバ」タブを開いて、「ドライバの更新」ボタンをクリックします。

8. 「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」のラジオボタンをオンにして、「次へ」ボタンをクリックします。

9. 「検索しないで、インストールするドライバを選択する」のラジオボタンをオンにします。「次へ」ボタンをクリックします。

10. 「ディスク使用」ボタンをクリックしてから「参照」ボタンをクリックして、適切なドライブ（ F: (CD-ROM ドライブ)）を選択します。

11. 「開く」ボタンをクリックし、「OK」ボタンをクリックします。

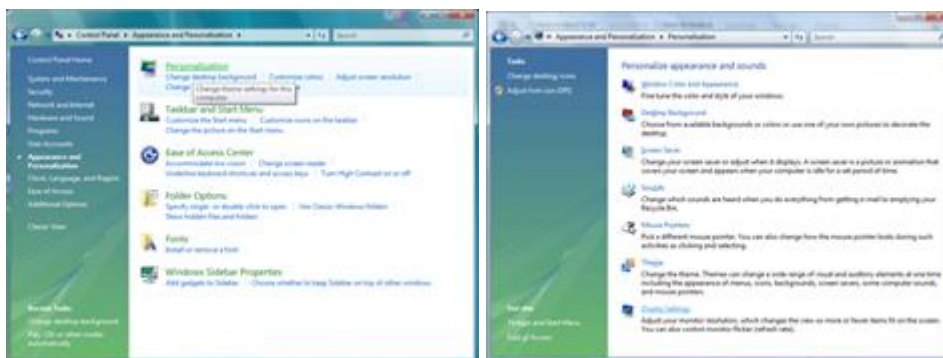
12. お使いのモニターのモデルを一覧から選択して、「次へ」ボタンをクリックします。このハードウェアOOOを使用するためにインストールしようとしているソフトウェアは、Windows XP との互換性を検証する Windows ロゴテストに合格していません。」のメッセージが表示されたときは、「続行」をクリックしてください。

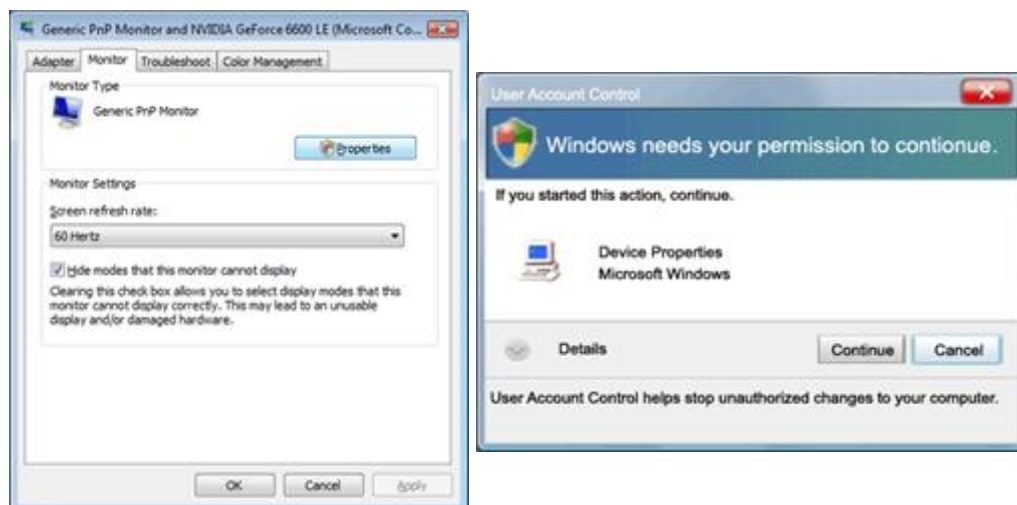
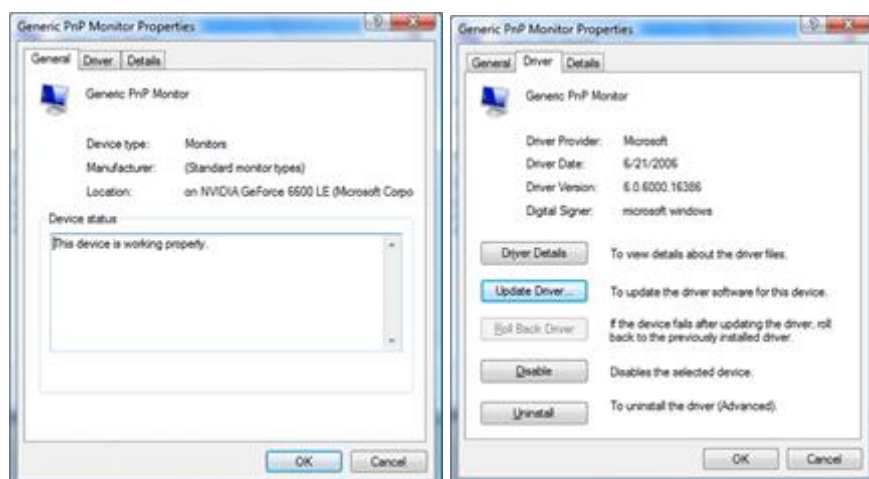
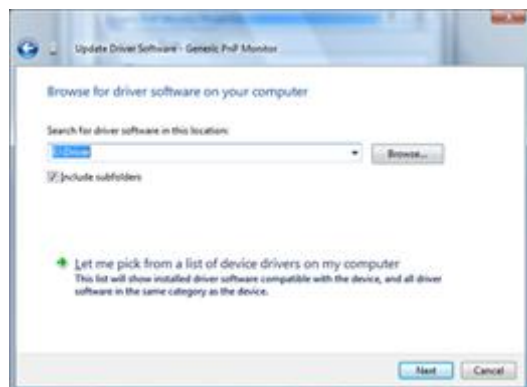
13. 「完了」ボタンをクリックして、「閉じる」ボタンをクリックします。

14. 「OK」ボタンをクリックして、更に「OK」ボタンをクリックして、「画面のプロパティ」ダイアログボックスを閉じます。

Windows Vista の場合

1.「スタート」ボタンをクリックして「コントロールパネル」をクリックします。「デスクトップのカスタマイズ」をダブルクリックします。

2.「個人設定」をクリックしてから、「画面の設定」をクリックします。

3.「詳細設定」をクリックします。

4. 「モニター」タブの「プロパティ」をクリックします。「プロパティ」ボタンがアクティブでないときは、モニターが正しく構成されていることを示しています。次の図のような、「Windows は...」というメッセージが表示されたときは、「続行」をクリックします。

5. 「ドライバ」タブの「ドライバの更新」をクリックします。

6. 「コンピュータを参照してドライバ ソフトウェアを検索します」を選択し、「コンピュータ上のデバイス ドライバの一覧から選択します」をクリックします。

7. 「ディスク使用」ボタンをクリックしてから「参照」ボタンをクリックして、適切なドライブ(F: (CD-ROM ドライブ)) を選択します。

8. お使いのモニターのモデルを一覧から選択して、「次へ」ボタンをクリックします。

9. 「閉じる」→ 「閉じる」→ 「OK」→ 「OK」を表示される画面の順に従ってクリックします

Windows 2000 の場合

1. Windows® 2000 を起動します。
2. 「スタート」ボタンをクリックして「設定」をポイントし、「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「画面」アイコンをダブルクリックします。
4. 「設定」タブを開き、「詳細」をクリックします。
5. 「モニター」タブを開きます。

－ 「プロパティ」ボタンがアクティブでないときは、モニターが正しく構成されていることを意味します。インストール作業は中止してください。

－ 「プロパティ」ボタンがアクティブの場合、「プロパティ」ボタンをクリックします。以下の手順を実行してください。

6. 「ドライバ」タブを開いて「ドライバの更新」ボタンをクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。
7. 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」のラジオボタンをオンにして「次へ」をクリックし、「ディスク使用」をクリックします。
8. 「参照」ボタンをクリックして、適切なドライブ(F: (CD-ROM ドライブ)) を選択します。
9. 「開く」ボタンをクリックし、「OK」ボタンをクリックします。
10. お使いのモニターのモデルを一覧から選択して、「次へ」をクリックします。
11. 「完了」ボタンをクリックし、「OK」ボタンをクリックします。「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されたときは、「はい」ボタンをクリックします。

Windows ME の場合

1. Windows® Me を起動します。
2. 「スタート」ボタンをクリックして「設定」をポイントし、「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「画面」アイコンをダブルクリックします。
4. 「設定」タブを開き、「詳細」をクリックします。
5. 「モニタ」タブをクリックして、「変更」ボタンをクリックします。
6. 「ドライバの場所を指定 (詳しい知識のある方向け)」のラジオボタンをオンにして、「次へ」ボタンをクリックします。
7. 「こ特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」のラジオボタンをオンにして「次へ」をクリックし、「ディスク使用」をクリックします。
8. 「参照」ボタンをクリックして、適切なドライブ(F: (CD-ROM ドライブ))を選択し、「OK」ボタンをクリックします。
9. 「OK」ボタンをクリックして、お使いのモニター モデルを選び、「次へ」をクリックします。
10. 「完了」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックします。

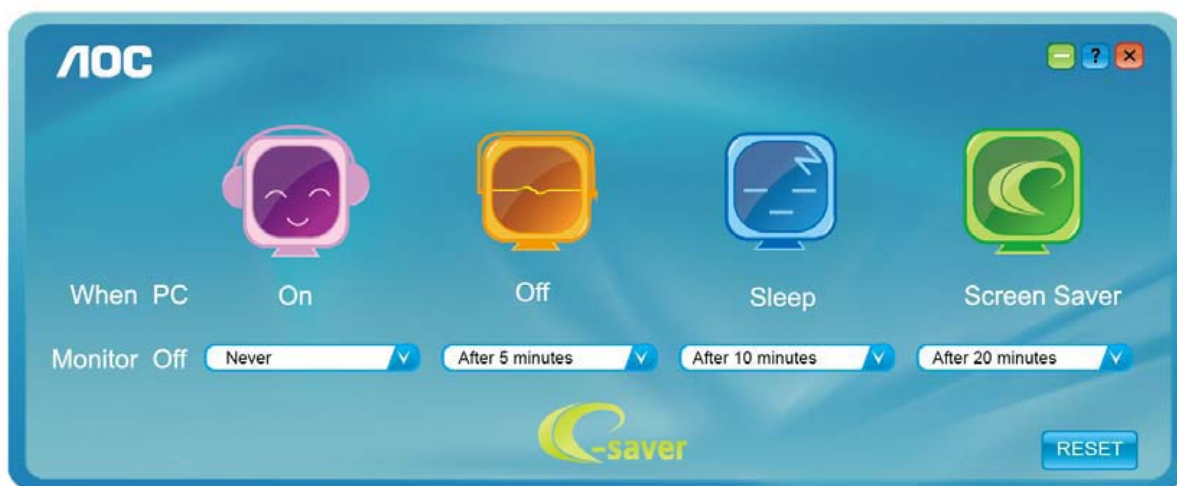
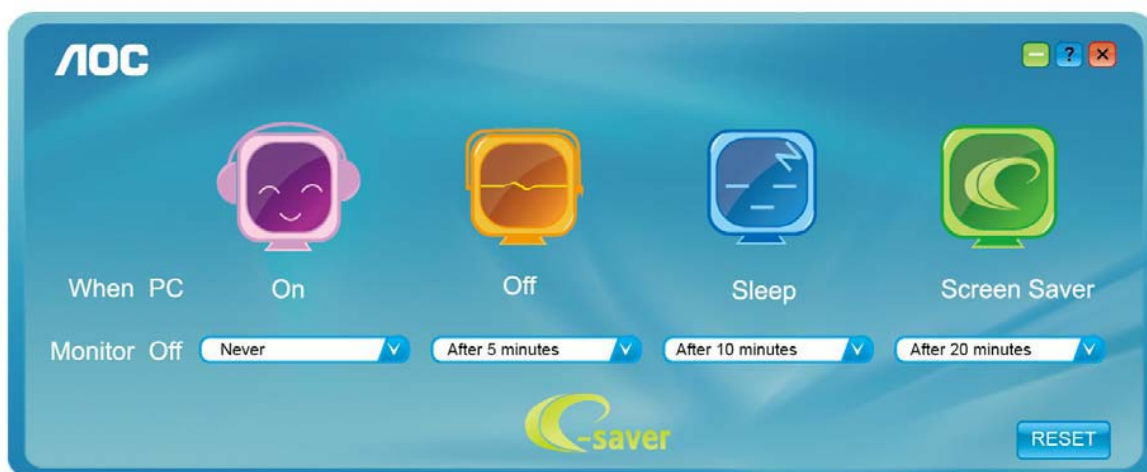
i-Menu

AOC i-Menu モニター調節ソフトウエアをご使用いただきありがとうございます。モニターの制御ボタンに比べて、本ソフトウェアは表示パラメータの設定がより簡単に行えます。以下の手順に従って、i-Menu ソフトウェアのインストールを進めてください。

e-Saver

AOC e-Saver スクリーン電源管理ソフトウェアをご使用いただきありがとうございます。AOC e-Saver はモニターに対する知能的なパワーオフ機能を備え、モニターはコンピューターのいかなる状態(スリープモードまたはスクリーンセーバーの起動または終了)においても、適時にパワーオフ制御ができます。パワーオフタイマーの時間はお好みにより設定できます(以下の例をご参考ください。)。「driver/e-Saver/setup.exe」をクリックし、e-Saver ソフトウェアのインストールを起動して、ウィザード案内に従って、インストールを済ませてください。

プルダウンメニューより、コンピューターの 4 つの状態に従い、モニターのパワーオフタイマーを設定できます(単位は分です)。以下は、上述の図例です。

1) モニターはコンピューターが稼働状態の場合パワーオフしない。
2) モニターはコンピューターがシャットダウンの後 5 分後に自動的にパワーオフ。
3) モニターはコンピューターがスリープ／スタンバイモードになった後、10 分後に自動的にパワーオフ。
4) モニターはスクリーンセーバー作動後 20 分後に自動的にパワーオフ。

「リセット」ボタンをクリックすることにより、e-Saver を以下に示す初期値に戻すことができます。

Screen+

AOC Screen+モニター調節ソフトウエアをご使用いただきありがとうございます。Screen+ソフトウェアはデスクトップ配置のツールであります。デスクトップを異なるフレームに分割させ、それぞれのフレームに異なるウィンドウを表示させることができます。必要に応じて、ウィンドウを対応するフレームにドラッグするだけです。マルチモニター出力をサポートし、あなたの仕事をより簡単に行えます。インストールプログラムの指示に従い、ソフトウェアをインストールしてください。

トラブルシューティング

問題＆質問	解決方法
LED インジケータが点灯しない	電源ボタンがオンになっていること、電源コードが接地対応のコンセントとモニターにしっかりと接続されていることを確認してください。
画面に画像が表示されない	電源コードは正しく接続されていますか？ 電源コードがしっかりと接続され、電気が供給されていることを確認してください。 信号ケーブルは正しく接続されていますか？ （D-SUBケーブルを使って接続されている）D-SUBは正しく接続されていますか？ （DVIケーブルを使って接続されている）DVIは正しく接続されていますか？ *DVI信号入力機能を使用できないモデルも一部あります。 電源がオンになっている場合、コンピュータを再起動して、通常表示されるはずの初期画面(ログイン画面） が表示されるかを確認してください。 初期画面 （ログイン） 画面が表示されたら、コンピュータを適切なモードで起動し(Windows ME/XP/2000 の場合はセーフモード)、ビデオカードの周波数を変更します。(「解像度の設定」を参照してください。） 初期画面 （ログイン画面） が表示されない場合は、サービスセンターまたはお近くの販売店にご連絡ください。 画面上に「Input Not Supported (この入力はサポートしていません)」という表示は見られますか？ このメッセージは、お使いのビデオカードからの信号が、モニターによって適切に処理可能な最大解像度と周波数を超えている場合に表示されます。 モニターが適切に処理できる最大解像度と周波数を調整してください。 AOC ドライバがインストールされていることを確認してください。。
画面がぼやけて、ゴーストのような影が表示される	コントラストとブライトネスを調整してください。自動/信号ケーブル/終了を押して、自動的に調整します。 延長ケーブルやスイッチボックスを使用していないことを確認してください。モニターは、コンピュータ背面にあるビデオカード出力端子に直接接続することを推奨いたします。
画像が跳ねる、ちらつく、または、画像に波形が入る	電波障害を引き起こす可能性のある電気製品をモニターからできるだけ遠ざけてください。ご使用中の解像度でモニターが実現できる最大のリフレッシュ レートを使用してください。

モニターがアクティブ−オフモードのまま、反応しなくなっている	コンピュータの電源スイッチが、ON の位置にあることを確認してください。 コンピュータのビデオ カードが、スロットにしっかりと挿入されていることを確認してください。 モニターの映像ケーブルがコンピュータにしっかりと差込まれていることを確認してください。 モニターの映像ケーブルを確認し、ピンが1本も曲がったりしていないことを確認してください。 キーボード上の CAPS LOCK キーを押して CAPS LOCK インジケータが点灯することを確かめ、コンピュータが動作しているかどうかを確認してください。インジケータランプは CAPS LOCK キーを押すたびに、点灯、消灯を交互に繰り返す必要があります。
原色(赤、緑、青)のうちの 1 色が欠落している	モニタの映像ケーブルを確認し、ピンが1本も曲がったりしていないことを確認してください。 モニターの映像ケーブルがコンピュータにしっかりと差込まれていることを確認してください。
画像が中央に表示されない、画像と画面の大きさが合っていない	水平ポジションや垂直ポジションを調整するか、ホットキー（自動/信号ケーブル/終了）を押してください。
画像の色がおかしい（白が白色に表示されない）	RGB カラーを調整する、または適切な色温度を選択してください。
画面に縦向きまたは横向きのノイズが出現する	Windows 95/98/2000/ME/XP/7 のシャットダウン モードを実行してから、水平サイズ と位相 を調整するか、ホットキー（自動/信号ケーブル/終了）を押してください。

仕様

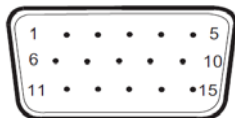
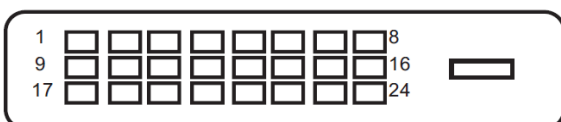
一般仕様

	モデル名	Q2963PM
	ドライバ系統	TFT カラー LCD
	画面サイズ	730.025 mm 対角(アスペクト 21:9)
液晶パネル	画素ピッチ	0.268(水平)mm x 0.2628(垂直)mm
	ビデオ	アナログ RGB インターフェース
	セパレート同期信号	H/V TTL
	表示色	1,670 万色
	ドットクロック	185.58 MHz
	走査周波数(水平)	30kHz - 99kHz
	走査周波数(水平最大)	672.768 mm
	走査周波数(垂直)	50Hz - 76Hz
	走査周波数(垂直最大)	283.824mm
	最適プリセット解像度	2560×1080@60Hz
	プラグ＆プレイ	VESA DDC2B/CI
解像度	入力端子	D-Sub15 ピンおよび, DVI/MHL/HDMI/DP
	入力映像信号	アナログ: 0.7Vp-p(標準)、75 OHM、正電極
	スピーカー	3 W x 2
	電源	19V、3.42A
	消費電力	65 W(最大)
		スタンバイ時 0.5W 未満 (HDMI/MHL モードを除く)
	オフタイマー	0-24 時間
	コネクタタイプ	VGA¥ DVI¥HDMI¥DP イン¥DP アウト¥ ラインイン¥イヤホンアウト ¥DC イン
	信号ケーブルタイプ	取り外し可能タイプ
	寸法および重量:	
物理的特性	高さ(スタンドあり)	387.9mm
	幅	713.6 mm
	奥行き	214.3 mm
	重量(本体のみ)	6.90 kg
	壁マウント	100 x 100 mm
	温度:	
	動作時	0° ～40°
	非動作時	-25° ～55°
	湿度:	
環境条件	動作時	10% ～85% (結露なし)
	非動作時	5% ～93% (結露なし)
	高度:	
	動作時	0~ 5000m (0~ 16402 フィート)
	非動作時	0~ 12192m (0~ 40000 フィート)

MHL には携帯電話の充電機能があり HDMI と同じコネクタを共有するため、MHL がオン、オフ、スタンバイモードに設定されている場合、MHL ポートからは接続されたデバイスを同時に充電する電力が供給されます。スタンバイとオフでは、ErP の省エネは MHL 充電機能には適用されません。

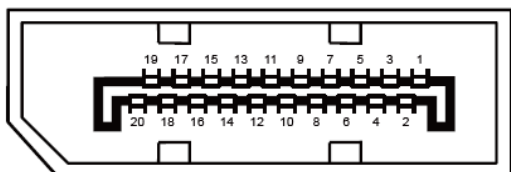
プリセット表示モード

スタンド	解像度	水平周波数(kHZ)	垂直周波数(Hz)
VGA	640×480 @60Hz	31.469	59.940
VGA	640×480 @67Hz	35.000	66.667
VGA	640×480 @72Hz	37.861	72.809
VGA	640×480 @75Hz	37.500	75.000
Dos	720×400 @70Hz	31.469	70.087
SVGA	800×600 @56Hz	35.156	56.250
SVGA	800×600 @60Hz	37.879	60.317
SVGA	800×600 @72Hz	48.077	72.188
SVGA	800x600@75HZ	46.875	75.000
Mac	832×624 @75Hz	49.725	74.500
XGA	1024×768 @60Hz	48.363	60.004
XGA	1024×768 @70Hz	56.476	70.069
XGA	1024×768 @75Hz	60.023	75.029
SXGA	1280x1024@60Hz	63.981	60.020
SXGA	1280x1024@75Hz	79.976	75.025
WXGA+	1440x900@60Hz	55.935	59.887
WSXGA	1680x1050@60Hz	64.674	59.883
HD	1920x1080@60Hz	67.500	60.000
WQHD	2560x1080@60Hz	66.636	59.978
HD	1280x960@60Hz	60.000	60.000
HD	1280x720@60HZ	44.772	59.885

ピン割り当て

ピン番号	信号ケーブルの15ピン側
1	ビデオ － 赤
2	ビデオ － 緑
3	ビデオ － 青
4	N.C.
5	自己診断テスト
6	GND-R
7	GND-G
8	GND-B
9	+5V
10	接地
11	N.C.
12	DDC-シリアル データ
13	水平同期信号
14	垂直同期信号
15	D DDC-シリアルクロック

24 ピンカラーディスプレイ信号ケーブル

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	TMDS データ 2ー	13	TMDS データ 3＋
2	TMDS データ 2＋	14	＋5V 電力
3	TMDS データ 2/4 シールド	15	アース(+5V 用)
4	TMDS データ 4ー	16	ホットプラグ検出
5	TMDS データ 4＋	17	TMDS データ 0ー
6	DDC クロック	18	TMDS データ 0＋
7	DDC データ	19	TMDS データ 0/5 シールド
8	N.C.	20	TMDS データ 5ー
9	TMDS データ 1ー	21	TMDS データ 5＋
10	TMDS データ 1＋	22	TMDS クロックシールド
11	TMDS データ 1/3 シールド	23	TMDS クロック+
12	TMDS データ 3ー	24	TMDS クロック-

19 ピンカラーディスプレイ信号ケーブル

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	TMDS データ 2+	11	TMDS クロック シールド
2	TMDS データ 2 シールド	12	TMDS クロック
3	TMDS データ 2	13	CEC
4	TMDS データ 1+	14	予約（デバイスの N.C.）
5	TMDS データ 1 シールド	15	SCL
6	TMDS データ 1	16	SDA
7	TMDS データ 0+	17	DDC/CEC 接地
8	TMDS データ 0 シールド	18	+5V 電源
9	TMDS データ 0	19	ホット プラグ検出
10	TMDS クロック +		

20 ピンカラーディスプレイ信号ケーブル

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	ML_Lane 3 (n)	11	アース
2	アース	12	ML_Lane 0 (p)
3	ML_Lane 3 (p)	13	CONFIG1
4	ML_Lane 2 (n)	14	CONFIG2
5	アース	15	AUX_CH(p)
6	ML_Lane 2 (p)	16	アース
7	ML_Lane 1 (n)	17	AUX_CH(n)
8	アース	18	ホットプラグ検出
9	ML_Lane 1 (p)	19	リターン DP_PWR
10	ML_Lane 0 (n)	20	DP_PWR

プラグアンドプレイ

プラグアンドプレイ DDC2B 機能

本機は、VESA DDC 規格に対応した VESA DDC2B 機能を搭載しています。この機能により、モニターは、ホストシステムに識別情報を通知し、使用される DDC のレベルに従って表示能力に関する追加情報を通信します。

DDC2B は、I2C に基づく双方向性のデータ チャネルです。ホストは、DDC2B チャネルを通じて EDID 情報をリクエストできます。

安全規格情報

米国連邦通信委員会(FCC)の安全に関する注意事項

FCC Class B Radio Frequency Interference Statement 警告: (FCC 認定モデル用)

この機器は、FCC 規則の Part 15 に基づく試験が実施され、クラス B デジタル デバイスの限度値に適合しています。これらの限度値は、住宅地でこれらの機器が利用される際に、有害な電波干渉に対して適切な保護を提供することを目的に設定されています。この機器は、無線周波数エネルギーを生成、使用、および放射するため、取扱説明書に従わずに設置および使用した場合は、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす恐れがあります。しかしながら、一定の設置に対して、電波干渉は必ず発生しないという保証はありません。この機器が実際にラジオやテレビの受信障害を引き起こす場合（機器の電源をオンやオフに切り替えることで確認できます）は、以下のいずれかの方法を 1 つまたは 複数お試しいただき、電波干渉を改善されることをお勧めします。

受信アンテナの向きを変えたり、設置場所を変えてみます。
受信機に対する装置の配置を変えます。
受信機が接続されているコンセントとは別の回線を使ったコンセントに、機器のプラグを接続します。販売店またはラジオ/テレビの専門技術者に、他の方法について問い合わせます。

ご注意:
この規定の適合性に対する有責当事者による明示的な承諾が無いにもかかわらず、この機器に変更を加えたり、或は改造したりした場合、この機器を操作するためのあなたの権限が取り消されますのでご注意ください。この規定に準拠するため、インターフェスケーブルや電源コードには、シールドされたものを使用する必要があります。
製造者は、この機器に対する許可の無い変更によって発生したラジオやテレビの受信障害について責任を負いません。このような障害の修正については、ユーザーの責任になります。

WEEE 声明文

EU 域内での一般家庭における不要機器の処分について

製品やそのパッケージ上に記載されているこの記号は、その製品を他の家庭ごみと一緒に処分してはいけないことを示しています。電気・電子機器をリサイクルするために指定された収集場所に不要機器を持ち込み、責任を持って処分してください。分別収集やリサイクルを通して不要機器の処分することにより天然資源の保護に役立ち、人々の健康と環境を守る手段によって廃棄物をリサイクルできるようになります。リサイクルのために廃棄物を持ち込める場所の詳細については、各地域の自治体、家庭ゴミ処分業者、または製品をご購入いただいた店舗までお問い合わせください。

水銀（Hg）規制準拠宣言

Hg安全上の注意事項: ランプの廃棄

本製品の内部にあるランプには水銀が含まれており、地方法、州法、または、連邦法に従って再利用または廃棄しなければなりません。 詳しい情報については、米国電子工業会の Web サイト（WWW.EIAE.ORG）をご覧ください。

日本向け材料含有率基準準拠宣言

日本工業規格 JIS C0950.2005 の規定に基づき、製造元は、2006 年 7 月 1 日以降販売の電子製品について、特定化学物質の含有率基準準拠宣言書を提出することが義務付けられています。 本製品の JIS C0950 規格の規定に基づく材料含有率基準準拠宣言書は、WWW.AOC.COM/JAPAN でご覧いただけます。

大 分類	化学物質記号					
	Pb	Hg	Cd	Cr6+	PBB	PBDE
筐体	O	O	O	O	O	O
CRT モニター	×	O	O	O	O	O
LCD ディスプレイ/ランプ	×	×	O	O	O	O
プラズマディスプレイ	×	O	O	O	O	O
回路コンポーネント*	×	O	O	O	O	O
電源アダプター	×	O	O	O	O	O
コード/ケーブル	×	O	O	O	O	O
リモコン	O	O	O	O	O	O

注記 1: 「O」は算出対象物質の含有率が含有率基準以下であることを示します。
注記 2: 「除外項目」は、特定の化学物質が含有マークの対象物質から除外されることを示します。

VCCI

この装置は、クラス B の情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

保証規定

正常な使用状態において製品が故障した場合には、本規定に基づき、無償で修理させていただきます。

本製品の使用・故障によって生じた直接・間接の損害については、弊社はその責任を負わないものとします。保証期間中であっても、次の場合には修理に要する費用はお客様の負担となります。

(1)保証書のご提示が無い場合。

(2)保証書に製品型式、製造番号、お買い上げ日等の記載が無い場合、および字句を書き換えられた場合。

(3)お客様による輸送・移動時の落下・衝撃など不適切な取扱により故障、損傷した場合。

(4)お客様のご使用上の誤り、および不当な改造・修理により故障、損傷した場合。

(5)地震、落雷、火災、風水害、その他の転変地変、あるいは異常電圧等の外部要因によって故障した場合。

本規定は日本国内でのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

本規定は、明示した期間、条件のもとで無償修理をお約束するものです。
お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間経過後の修理についても AOC モニターサポートセンターにお問合せください。

お問い合わせ先:AOC モニターサポートセンター
TEL:03-5676-6022 (受付時間:月～金 10:00～17:00)